

# Stakeholders / 法人スポンサー紹介

## ■ 株式会社エンラプト

株式会社エンラプトは、2011年に設立された受託システム開発・ITコンサルティングのベンチャー企業です。2014年現在、社員数は20名弱の少数精鋭集団です。2013年9月より、PMI日本支部の法人スポンサーとなりました。



### 1. 企業概要

我々はエンタープライズシステム開発における下記のような状況を改善していきたいという考えで会社を設立しました。

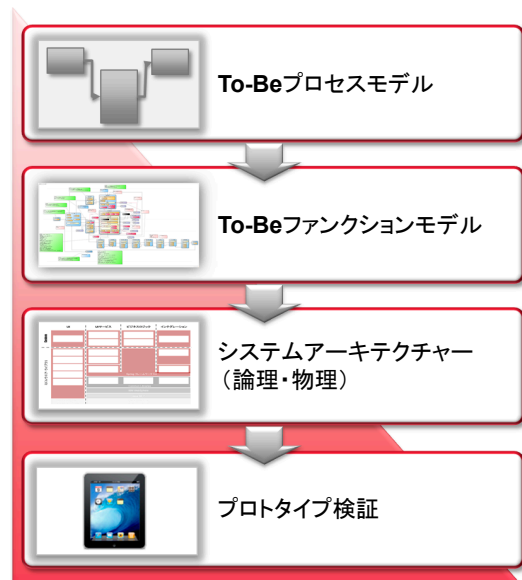
- 経営目標と合致していないIT投資・プログラム
- 実現性を考慮していないコンサルティング
- 受け身の受託開発
- 技術に対するパッションがないIT社員・ベンダー

我々の理念は、ITはビジネスにおける戦略的武器であるということです。我々のコアコンピテンシーは実践経験に基づく技術力と実行力・スピードです。現在注力している領域はフロントオフィス系の業務アプリケーションです。クライアントの目的、環境、ニーズに合致したシステム提案・進め方・体制を提案し、主に、国内および外資系の金融系エンタープライズ組織にソリューションを展開しています。

### 2. プロジェクト成功に向けたプラクティカルアプローチ： Simple Is Best

我々のアプローチの例として、業務変革系プロジェクトで弊社が今まで経験した共通サクセスファクターをいくつかご紹介いたします。各環境・文化・目的に応じてプロジェクトのアプローチは異なりますが、アイデアから実現に至るまでに必要な要素は変わらないと考えています。下記のような取り組みで弊社クライアントは成功を経験しています。

### ソリューション構成



#### 2.1 Step1. 計画

ビジネスモデル、新規商品、サービス、を可能な限り早く展開することを大前提としています。あるべき論・できない理由にフォーカスせず、有力なアイデアを持つ人と決定できる人で実現・評価可能な取り組みにフォーカスしながら実行計画を策定するのがプロジェクトの第一成功ステップになると考えています。

#### ● クリティカル・サクセス・ファクター：

1. エグゼクティブ・スポンサーおよびステークホルダーと目標、スコープ、体制・役割分担、スケジュール、予算をコミットする
2. エグゼクティブ・スポンサーの役割を明確にし、彼らの知見を取り込みながら、密なコミュニケーションをとる

## Stakeholders / 法人スポンサー紹介

## ■株式会社エンラプト

3. 実現性を評価できる人が参画する（プロセス、テクノロジー）
4. プログラム展開と人事制度をひもづける
5. 評価指標（定量、定性）を決定する
6. 基幹システム以外のリプレースに6～9カ月以上のプロジェクト期間は設定しない
7. 検討・計画期間はプロジェクト期間の半分未満に制限する
8. 高スキル・経験豊富なプログラムマネジャーのアサイン

## ●弊社の主な活動

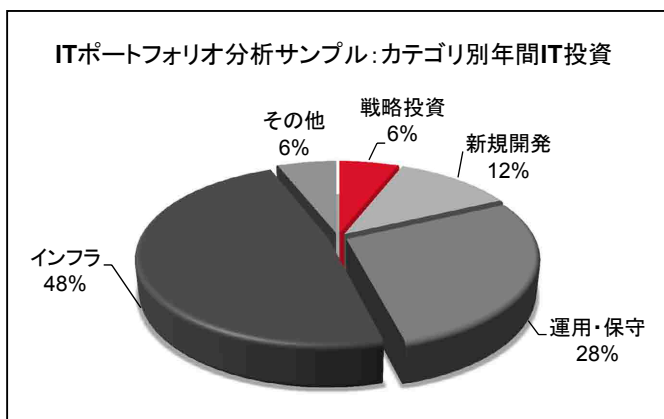
1. ITポートフォリオ分析
2. プログラムロードマップ・計画書作成
3. 体制検討支援
4. アーキテクチャ戦略の定義
5. To-Beプロセスの策定
6. プロトタイプ作成・To-Be構想の検証支援
7. ベンダー選定支援（リソース評価を含む）

## ●クリティカル・サクセス・ファクター：

1. 計画・成果物の評価基準を明確に定める
2. 役割分担と依存関係、マイルストーンが明確であること
3. 適材適所のリソース計画・選定
4. インスペクション（外部ベンダーリソースのコードレビューを実施）
5. 迅速な問題認識・解決活動とエスカレーション

## ●弊社の主な活動

1. アプリケーションフレームワークと整合した役割分担を提案
2. ユーザー・ベンダー間の成果物依存関係、マイルストーンを明示し、進捗管理の基準を提案
3. オフショアランプアップ支援（メンバーのコードレビュー、知識トランスファー、Q&A）
4. プロアクティブなコミュニケーションと、会議ファシリテーション
5. 高難度開発の実施



## 2.2 Step2. 実行

実行段階の重要なポイントは、実行の管理と素早いコミュニケーションです。大規模なプロジェクトには、必ず組織や外部企業との役割分担があります。その間の依存ポイント・マイルストーン・各種基準を明確に定義し、緊密に連携をとっていく必要があります。

また、想定外の事態が発生した場合に、即座にエスカレーションを行い適切な支援を得ることができるような体制作りが重要となります。

## 2.3 Step3 評価

新規サービス、商品、ビジネスの取り組みが展開された後、最もスキップしやすいステップは評価です。存在しない物・やり方を一回で完璧に制作できる確率はほぼゼロだと考えており、初期の取り組みをいかに早く、低コスト、低リスクで改善できるかが企業の成熟度を評価する一つの方法だと考えております。

## ●クリティカル・サクセス・ファクター：

1. 計画段階で決めた指標に基づいて、耳が痛いこともはっきり言う（たとえエグゼクティブ側に問題があったとしても）
2. 成果がでた分、関係者に対してRewards（特別ボーナス、昇給）・Recognition（社内ニューズレターで発表、取締役会での報告）を与える
3. 建設的な議論をする：ネガティブな意見は歓迎するが、代案を求める

## ●弊社の主な活動

1. プロジェクト振り返りのファシリテーション・改善策の洗い出し
2. 次フェーズ計画支援
3. ポートフォリオ更新・再評価支援

## ■株式会社エンラプト

戦略的なIT投資を行おうと思うとき、多くのエンタープライズ組織では上記のようなサクセスファクターを意識するのは有効だと考えています。上記は当然のようなことばかりですが、大半のプロジェクトで基礎がしっかりしていたら、成功プロジェクトの割合はより多くなるはずです。

**3. PMI日本支部への期待**

PMBOK®はプロジェクト管理のデファクトスタンダードとして、認知度は非常に高いと思います。しかし、十分に実践できている組織は多くありません。PMI日本支部にはPMBOK®の実践のための施策に広く取り組んでいただき、実務者が活発なディスカッションを行う場となることを期待していますし、弊社も経験をフィードバックしてともに日本のIT業界に良い影響を与えていければと考えています。

**4. 最後に**

設立したばかりで非常に小規模な会社ですが、国内外の有力IT企業の出身者から構成される少数精鋭の集団です。我々は責任のない仕事はしないというモットーを持っており、実現性のないコンサルティングは絶対に行いません。我々は、クライアントの戦略的なパートナーとして尊重されるような企業・技術者を目指し日々取り組んでいます。我々の考え方に賛同して、一緒に業界を変えていくことに取り組む仲間を募集しています。ご興味がありましたら、弊社連絡先までご連絡ください。

## ■株式会社エンラプト

2014年4月より下記住所に移転します

〒106-0032 東京都港区六本木1丁目9番10号

アークヒルズ仙石山森タワー25F

[jobs@enrapt.jp](mailto:jobs@enrapt.jp)

<http://www.enrapt.jp>